

項 目	電源電線の屈曲試験について
<p>1 内容</p> <p>技術基準省令の解釈別表第八1(2)サ項の電源電線の屈曲試験では、「電源電線等の先に500gのおもりをつるして可動板を左右交互におのおの次の表に示す角度及び速さで連続して2,000回往復する操作を行ったとき、」と試験方法が規定されている。(別表第四1(2)ラ項も同様。)この屈曲回数の数え方は、鉛直状態からの片道の往復で1回か、または鉛直状態から左右に往復して1回か、教えてほしい。</p>	
<p>2 回答</p> <p>屈曲回数の1回の数え方は、鉛直状態からの片道の往復数になります。</p> <p>(理由)</p> <p>別表第八1(2)サ項の表の備考に「往復の速さにおける回数は左右おのおの1回と数える。」と記載されており、往復の定義もこれに整合しています。</p>	